厚生労働科学研究費補助金　エイズ対策研究事業
エイズ予防のための戦略研究 総合研究報告書

課題１
首都圏および阪神圏の男性同性愛者を対象とした
HIV 抗体検査の普及強化プログラムの有効性に関する地域介入研究

首都圏の男性同性愛者を対象とした HIV 抗体検査の普及強化プログラムの実施報告

研究リーダー：市川誠一（名古屋市立大学看護学部）
研究協力者：生島　嗣（ぷれいす東京）、佐藤未光（Rainbow Ring）、岩橋恒太（ぷれいす東京/流動研究員）、張由紀夫（Rainbow Ring/流動研究員）、砂川秀樹（ぷれいす東京/流動研究員）、荒木順子（Rainbow Ring/流動研究員）、長谷川博史（JaNP+）、星野慎二（横浜 Cruise ネットワーク）、小林信之、山田悦子（八王子市保健所）、中澤よう子（神奈川県小田原保健福祉事務所）、高野操（財団法人エイズ予防財団/流動研究員）、金子典代（名古屋市立大学看護学部）、塩野徳史（名古屋市立大学/流動研究員）、ジェーン・コーナ（名古屋市立大学/流動研究員）

研究要旨

男性同性間の性的接触による HIV 感染者およびエイズ患者報告数が著しく増加していることから、東京都、神奈川県、千葉県に居住する MSM（男性と性的接触を有する男性）を対象に、HIV 抗体検査促進のための啓発普及プログラムを実施し、HIV 抗体検査件数の増加、エイズ発症者の抑制を図ることを目的とした。研究計画書に沿って平成 18（2006）年度から平成 22（2010）年度にかけて、相談、啓発、検査、評価調査の体制の構築を図りつつ、以下のことを実施した。

相談体制としては、検査促進の広報活動を実施する前に、受検者や陽性者への支援環境を整備した。首都圏を中心にエイズ電話相談を実施している機関、特に MSM を対象とした相談が可能な機関を調査し、承諾を得てＷＥＢサイト、啓発資材等へ掲載した。

HIV 検査受検行動を促進するための啓発資材・プログラムの開発とその実施としては、(1) 複合メディア・キャンペーン体制（携帯電話、ＰＣ双方に対応した複数の大型ウェブサイトの構築と広報）、（2）抗体検査受検行動を促進するためのクラブイベント、ラジオを用いた啓発普及、（3）ゲイタウンミーティングの実施、中高年層向けの資材作成と啓発普及、資材配布が行われていなかったゲイタウンへの啓発普及、（4）多様な層（薬物依存、聴覚障害、ハッテン場ユーザー）について関係機関と協働した広報資材の開発と配布を実施した。HIV 検査体制の整備としては、（1）東京都、神奈川県、横浜市、千葉県の保健所、クリニック等の HIV 検査担当者検査担当者への研修会の開催、（2）MSM に理解のある保健所のネットワーク構築、（3）MSM 向け検査施設の web およびパンフレットを通じた広報、MSM 向けの臨時検査の広報を実施した。

評価調査体制としては、(1)「受検者数把握に関する調査」「受検者の動向に関する質問紙調査」について、東京都、神奈川県、横浜市の自治体、および東京都内の STD クリニック

等において実施、(2)首都圏の MSM を対象とした、RDS（Respondent Driven Sampling）法を用いた携帯電話調査、MSM 向け商業施設利用者への質問紙調査を実施した。また、首都圏における MSM 層の情報ネットワークと検査行動、および検査受検に伴う行動変容に関する質的調査を行った。

A　研究の目的

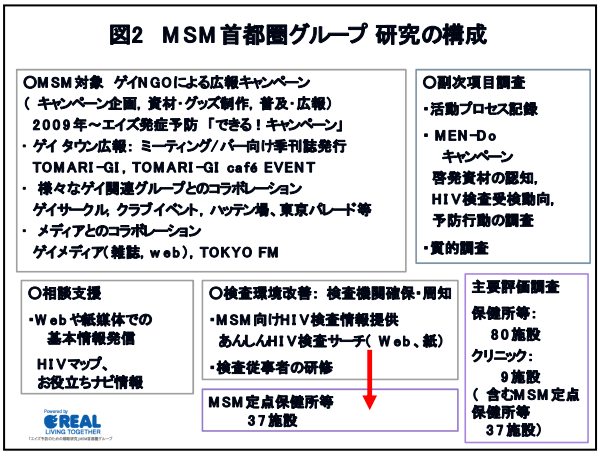
本研究では、首都圏に居住する MSM(男性と性的接触を有する男性)を対象に HIV 抗体検査促進のための啓発普及プログラムを実施し、HIV 抗体検査件数の増加、エイズ発症者の抑制効果を介入前後で評価検討する。成果目標としては、下記の２点である。

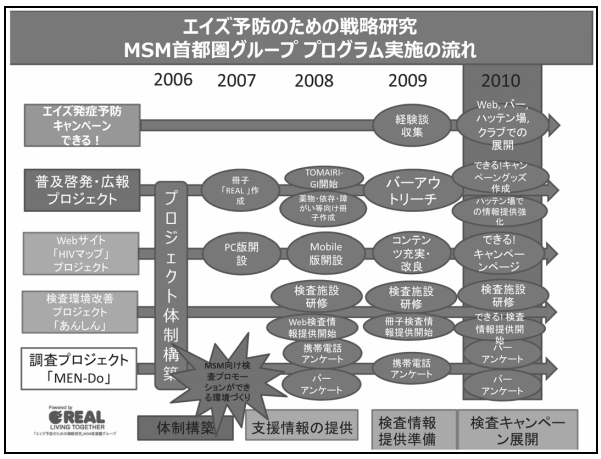
1）MSM の HIV 抗体検査受検者を２倍に増加させる。

2）HIV 診断時における MSM のエイズ発症者数を 25%減少させる。

○背景

HIV 感染者および AIDS 患者ともに、男性同性間での性的接触が最も多い感染経路である。





また、厚生労働省エイズ動向委員会の報告によれば、中高年層および若年層での発症で感染に気づく層が増加傾向にある。

現在では HIV の治療の進歩により、発症しても継続的に専門の治療を受診すれば多くの場合は回復が可能だが、現在でも亡くなったり、障害が残るケースも報告されている。そうした治療困難な事例について、支援団体や HIV 陽性者の当事者団体のメンバーからも指摘されてきた。こうした背景から、首都圏において、MSM を対象とした発症を迎える前に、感染に気づくメリットを伝える普及啓発の必要性が検討された。

また、HIV に関する事柄をインターネットを通じて検索したり、あるいは MSM 同士のセックスパートナーを見つけるためのウェブサイト利用者数が増加し続けているなど、ウェブ上での啓発普及の必要性が高まっていることも指摘できる。加えて、HIV の隣接分野である、薬物などの依存症や様々な障害、滞日外国人への対策も必要とされる。

首都圏ではこれまで、新宿における厚生労働省・男性同性間の HIV 対策とその介入効果に関する研究班の業績等、普及啓発活動および検査環境の整備活動の先行事例がある。また、「HIV を持っていている人も、持っていない人も、どちらかわからない人も、僕らはもう一緒に生きている」という標語を元に活動する、Living Together 計画が行う、HIV のリアリティを人々に共有し、HIV に関するスティグマを軽減するアプローチの経験も参照しつつ、これらの先行事例を参照し、首都圏の他地域への普及啓発活動、検査環境の整備活動を実施する。

○仮説

本研究では、成果目標に向けた MSM を対象とする HIV 検査促進キャンペーン研究を実施するにあたり、下記２つの仮説を立て、実施・検討している。

1)"準備性"を高めた検査キャンペーンに、効果がある:

検査キャンペーンにはまず、"準備性"を高める必要がある。この準備性の定義について、本研究では下記のように検討している。

○MSM に向けた相談支援体制の構築

受検予定者や陽性が判明した者、また HIV 陽性者の周囲(家族・パートナー・友人など)への支援情報が、その情報ニーズを持つ MSM に十分に普及している。

○MSM と HIV に関連する情報普及

MSM と HIV に関する疫学情報や医学情報、またセーファーセックスに関する情報が、その情報ニーズを持つ MSM に十分に普及している。

○MSM に向けた HIV 検査環境の整備

検査施設が MSM の受検に対して準備し、ニュートラルな対応を行うことができている。加えて、そうした検査施設の情報を、検査ニーズを持つ MSM に対して十分に普及している。

○HIV 陽性者、行政、検査施設、医療者、支援者、NGO、MSM 当事者のオピニオンリーダーなど地域で MSM と HIV に関わるアクターとの協働

MSM の現場について共有し、地域で MSM と HIV に関わるネットワークが構築・維持されている。

2)MSM 当事者による資材は、情報ニーズをもった MSM 層に対して訴求力を持つ:

○HIV 陽性者、個別の課題の当事者との協働による資材製作体制

予防啓発活動を展開するにあたり、HIV 陽性者や様々な課題の当事者の参加を重視している。

○MSM 当事者によるアウトリーチ

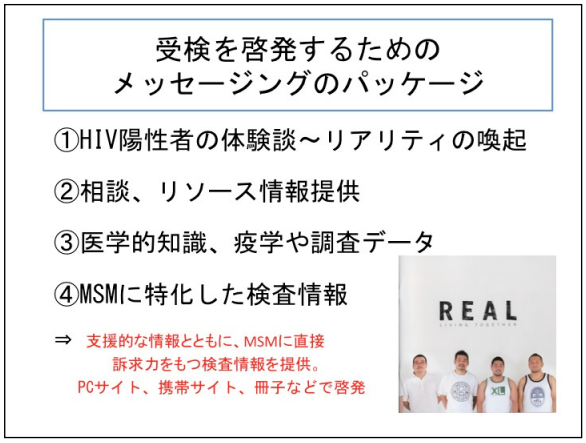
ゲイバーやハッテン場、MSM 向けクラブイベントなど、MSM が多く集まる場所に対して MSM 当事者による普及啓発活動を行っている。また、こうした場所のオーナーやオーガナイザーなど、オピニオンリーダーとなる人々と連携している。

○介入対象層にとって魅力的なビジュアルとデザインを使用

普及啓発の対象となる MSM にとって、魅力のあるビジュアルとデザインを用いて啓発資材を製作している。

○資材に掲載する情報のパッケージ化

部分的な情報ではなく、①陽性者の体験談、②相談リソース情報、③医学的情報、疫学的調査データなどのファクト、④MSM に特化した HIV 検査情報を必ず掲載した資材を製作している。



B. 研究方法

1 対象地域・対象者

首都圏では東京都、神奈川県、千葉県を対象地域とし、それらの地域に在住する MSM を対象者とした。

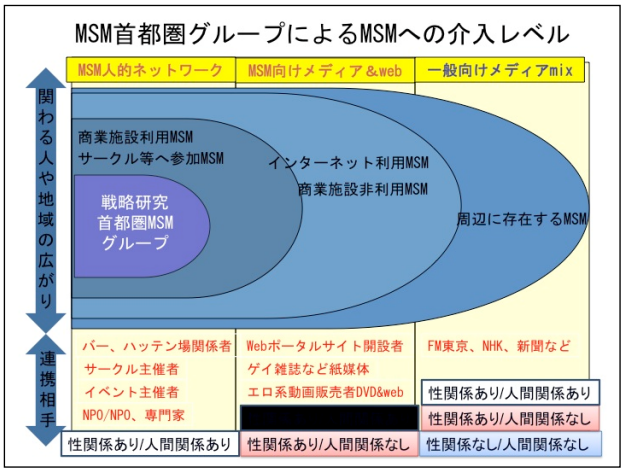
2 研究期間：2006 年 11 月～2011 年３月

3 介入方法

本研究では、MSM を対象に HIV 検査受検を促進し、早期発見、早期受検によるエイズ発症予防を図るため、アウトカム達成に向けた仮説に基づいて、MSM への相談支援、普及啓発、HIV 検

査環境改善、研究成果を把握する調査体制のそれぞれが連動する研究体制を構築する。
具体的な実績については次節において、経年的に整理を行う。

C. 研究結果



1. 2007 年度

1-1) 年間概要

首都圏の MSM 向けに、HIV 陽性者が生きやすい「コミュニティ」づくりを意識しつつ、HIV 抗体検査の受検を促進する活動を行っている。本年度は「REAL Living Together」をひとつのテーマとし、具体的には以下のような活動を展開した。

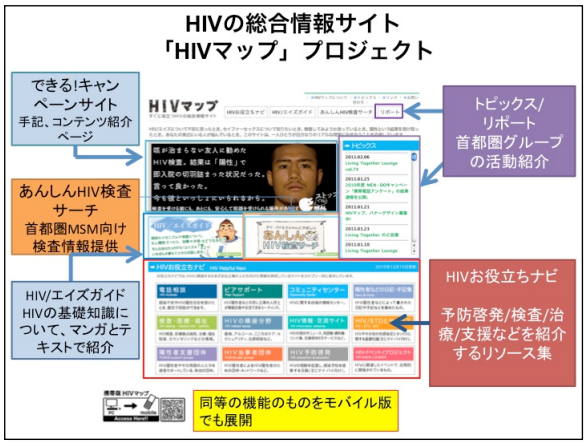
本研究が開始した「REAL Living Together」キャンペーンは、下記のような意図を込めている。「誰もが暮らしやすい街って、どんなところだろう？ エイズを発症することで感染がわかる人や新しく HIV に感染する人が減ることだけを目的としているのではありません。こわくて検査が受けられない、感染を知ったあと現実に向き合えなくて診療や治療を避けてしまう、そんなことが少なくなるための環境づくりを目指します」。HIV 抗体検査を促すキャンペーンを実施するだけではなく、まず受検前の情報の提供、MSM が受検しやすい検査環境を整えること、そして受検後の情報の提供を整備することを目指す、という意図の包括的な MSM 向けの HIV キャンペーンを企画している。

○第６回 TOKYO プライドパレード
「REAL」キャンペーンフロート

1-2) 相談支援

(1) HIV マップ

困難さに直面する利用者の視点にたち、予防啓発/検査/医療/支援の情報を整理した web サイト「HIV マップ」(http://www.hiv-map.net/)を 2007 年８月にオープンさせた。サイトのなかでは、全国の HIV に関連する相談リソースなどを整理した「HIV お役立ちナビ」を備え、相談支援体制の基盤を準備した。また、検索サイト上の順位を上げる SEO 対策を行い、検索サイトからのアクセシビリティにも工夫を行った。



○HIV マップ PC 版

○HIV マップ 携帯電話版

1-3）普及啓発

（1）ネットワーク

本研究では、これまで啓発介入が十分に行われてこなかったゲイバーが多く集まる地域において、バーのマスターらを対象としたミーティングの実施を重要なアプローチのひとつと位置づけた。2007 年度は新橋でマスターらを集めた「タウンミーティング」を開催し、８店舗から９名の参加があった。その後、マスターが主催するスポーツ大会において、マスター自身による啓発メッセージつきコンドームの配布が行われた。「タウンミーティング」をきっかけとし、マスターらによる啓発への取り組みが新橋において始まった。また、このタウンミーティングの案内をバーに手渡すために訪問隊が結成され、新橋へのアウトリーチ活動が始まった。

○スポーツ系サークルイベントで配布した主催者のメッセージ入りコンドームカバー

また、ゲイを描いた映画「初恋」の上映をあわせ、上川あや氏（世田谷区議会議員）を招いて開催されたシンポジウムや、TOKYO FM とコラボレーションをした「ポエトリー・リーディング Think About AIDS」などを実施し、より広い層に HIV/エイズについて考える機会提供を行った。

（2）資材開発

2007 年度は、世代や背景の異なる５人の HIV 陽性者の手記と、ゲイ・バイセクシュアル男性をめぐる HIV の現実を切り取ったコラムで構成した冊子「REAL Living Together」を製作し、ゲイ雑誌『バディ』、『G-men』、『サムソン』とのコラボレーションのもと、各誌での挟み込み配布を実施した。また、同冊子の普及版も製作し、第６回「東京プライドパレード」の会場にて 2,000 部を配布、2007 年度中に 11,000 部を配布した。同パレードでは、「REAL Living Together」のメッセージを伝えるフロートも出展している。

また、滞日外国人、薬物などの依存症の問題、「ゲイコミュニティ」へのデビュー前の若者など、HIV の隣接分野の当事者、支援者、NGO などと協働して冊子などのツール作成プロジェクトを開始した。

○ゲイ雑誌掲載「REAL」キャンペーン広告

① REAL Living Together

世代や背景の異なる５人の HIV 陽性者の手記と、MSM をめぐる HIV の現実切り取ったコラム、街と暮らしをイメージした写真などで構成されている。巻末には HIV やセックスについて不安や困難に直面した人々が相談したり、情報を得たりすることができるよう、主に首都圏エリアにあるリソース集（相談窓口や団体の案内）を掲載した。

○REAL Living Together

1-4）検査環境

（1）保健師研修

MSM が安心して HIV 抗体検査が受けられる体制の整備と拡大について、2008 年度以降の実現を目指し、都内の保健所関係者や医療機関とのミーティングをもつなど、働きかけを継続して行っている。2007 年度には 12 月、東京都の保健所職員および１月には横浜市のエイズ相談検査業務従事者向けの研修を実施した。

（2）検査情報提供

保健所による MSM 対象の検査イベントのフライヤーなどを通じた広報を行った。2007 年度には新宿区、八王子市、横浜市の検査イベントの広報に協力した。

2-5）調査評価

（1）質的調査

「首都圏におけるゲイおよびバイセクシュアル男性の受検行動の実態調査」

インタビュー調査を行い、HIV 抗体検査の受検行動への動機となっているものは何か、逆に阻害しているものは何か、また、検査に関する情報提供や検査に伴う対応はどうのようになされるべきなのかを検討した。

2. 2008 年度

2-1）年間概要

2008 年度は、首都圏地域居住の MSM を対象にして、複合メディア・キャンペーンを展開した。昨年度より実施した「REAL Living Together-HIV を持っている人もそうじゃない人も、私たちはもう一緒に生きている」を標語にした啓発プログラムをさまざまなメディアを介して実施している。

また、本研究のブランドロゴ、「REAL Living Together」も本年度決定した。

Powered by
REAL
LIVING TOGETHER
「エイズ予防のための戦略研究」MSM首都圏グループ

○本研究のブランドロゴ

2-2）相談支援

（1）HIV マップ

首都圏の MSM に対する HIV に関連した様々な情報を提供する基盤整備の一環として、情報を必要とするクライアントの視点に立ったインターネットサイト構築を進めた。本年度は HIV マップの下記コンテンツを拡充した。

① REAL-LT サイト

啓発普及を担当する、MSM 首都圏グループについて説明を行うページ。戦略研究における MSM 首都圏グループの目的、体制などを紹介している。また、本研究で作成したサイトをまとめ、アンブレラサイトとしての役割をもつ。加えて、本研究で作成した啓発資材の紹介も行う。

②HIV マップ mobile の改訂

「HIV マップ mobile」は、2007 年 12 月より公開を開始した、携帯電話での閲覧を対象とした web サイトである。2008 年 11 月に行った改訂により、「HIV お役立ちナビ」を携帯電話による閲覧という視点から、リソースに関する情報を利用者がより検索しやすい形態に整理した。加えて、「あんしん HIV 検査サーチ mobile」も新たなコンテンツとして加えている。

③HIV/エイズガイド

HIV マップ(PC 版)のコンテンツの一つとして、HIV/エイズに関する情報を提供する。これまで用意には理解しにくい形で提供されてきた HIV/エイズに関する多岐に渡った情報(HIV 感染症のメカニズム、セーファーセックス、検査、医療体制、福祉制度など)について整理し、平易な言葉を用いた対話形式で提示した。これによって利用者本人が本人にあった「HIV マップ」利用方法を獲得することを目的とする。

○HIV/エイズガイド

④「伝える」キャンペーン

「HIV マップ」は本研究が行う複合メディア・キャンペーンの基幹であり、このサイトのアクセス数を向上させることを目的として、8 月に「伝える」夏の思い出キャンペーンを展開した。

このキャンペーンは PC と携帯電話を利用した e カードキャンペーンであり、キャンペーンの紹介は複数の MSM が利用する商業サイトで行った。e カードには、MSM の間で人気のイラストレーターのイラストが配置されている。e カードを利用するためには、HIV マップを訪れる必要があり、またカードを送付された相手にも HIV マップの URL などの情報も同時に提供している。

○伝えるキャンペーン

2-3) 普及啓発

(1) ネットワーク

①地域とのネットワーク構築

今年度も、MSM 向け商業施設について、協力地域を拡大する試みを行った。それぞれの町の利用者が感じている HIV のリアリティや HIV に関する情報を共有するための有効な方法などを、タウンミーティングを通じて地域の参加者からの意見を聴き取ることを行った。ミーティングを通じて、バーのマスターらがもつ中高年層向けの啓発資材のニーズなどを得た。

本年度は上野・浅草、新橋にあるゲイバー等に訪問し、エイズ関連の情報や顧客のエイズに対する反応などを聴き取った。新橋ではゲイバーのおよび 70 店舗に訪問し、本研究での啓発普及の可能性を探った。

また、ゲイバー等に訪問した際に得ることができた、エイズ関連の情報ニーズや顧客のもつリアリティなどを参考に、ゲイバー、商業施設スタッフ向けにバースタッフ向け季刊誌「TOMARI-GI」の発行を 12 月に開始した。「バーからの情報発信をサポートする、HIV/エイズ

の最新リソースマガジン」である本誌では、バースタッフとの協力関係を構築するとともに、オピニオンリーダーであるスタッフから顧客へ情報を普及させる目的で配布した。

○TOMARI-GI

②ゲイ NGO、ゲイサークルとのネットワーク構築と資材開発、啓発普及

商業施設利用経験の少ない MSM 層や、神奈川、千葉、埼玉に居住する MSM を対象にした啓発資材の普及と HIV 検査関連情報の広報戦略を展開するために、薬物等依存症の問題、聴覚障害者などのゲイ NGO やゲイサークルの当事者メンバーとの連携を構築した。この連携の元、hard to reach 層への情報暴露を促進するための資材を開発した。その成果は、冊子「Ready Go!」、「This is hope」、「ボクライフ」、「FACE TO REAL」として結実している。

③REAL Living Together クラブキャンペーン

世界エイズデーを中心とした2008年11月から 2009 年１月までの間に実施した。首都圏で MSM を対象として行われる既存のクラブイベントの主催者に協力依頼をし、本研究のコラボレーションをしてイベントにあう冊子、コンドームなどの資材セットを開発し、合計 42 イベントで啓発普及活動を行った。約２ヶ月の間に合計 6,635 セットを配布している。会場では本キャンペーンで配布される資材の内容について紹介し、連動するインターネットサイトでも紹介している。

○「REAL」クラブキャンペーンの様子

（2）資材開発

①HIV に関連するパンフレット

○FACE TO REAL HIV/AIDS をめぐる８つのリアル

2008 年 11 月から 2009 年１月にかけて実施された「REAL Living Together club campaign 2008」にて、6,635 部配布した。「AIDS=死じゃない」「恋人ともセーファーに」「バリタチ≠安全」など、まだ十分には周知されていない可能性のある、今 MSM に知ってほしい HIV/エイズの情報を、わかりやすいテキストとイラストで紹介したリーフレット。本冊子ではキース・ヘリング財団の協力の元、イラストを使用した。

○Ready Go!! ろう者のための HIV 入門

聴覚に障害をもつ MSM 向けにつくられた、わかりやすい HIV の情報冊子。それぞれの HIV に関わる情報を手話によって表現しているが、同時に、聴覚に障害を持たない人にとっても、セーファーセックスをはじめとした HIV やエイズの基本的な知識についてビジュアルを通じて得られるものとなっている。ゲイ雑誌３誌『バディ』『G-men』『サムソン』から推薦された、９名のモデルと２名のろう当事者、そして２名のドラァグクイーンの協力の元、彼らをビジュアルに使用している。また、ろうで HIV を持つ３名の手記も掲載した。巻末にはリソー

ス集とろうの人々が受検する際に役立つ、検査施設への申し込みや質問をするためのテンプレートを付録としてつけている。本冊子の制作には、ゲイで聴覚に障害を持つNPOメンバーや手話通訳者にも協力を得た。今年度は 7,485 部配布を行った。

○ Ready Go!!

○This is hope 依存症・メンタルヘルスの問題、そしてHIVのこと

薬物やアルコールの問題、またセックスへの依存などについて書かれた冊子。HIV陽性者を含んだ、メンタルヘルスに難しさを抱えた経験を持つ当事者たちによる手記とコラム、人の暮らしの中のつながりや希望が垣間見える写真によって構成している。また巻末には、HIVやセックスについての相談情報や、それぞれの依存症に関するリソース集を掲載している。本冊子の制作には、自ら依存の問題を持ち、セクシュアルマイノリティである当事者が制作チームに加わった。今年度は3,110部配布している。

○ This is hope

○ボクライフ!

未成年を対象としており、学校等で教わる機会の少ない、MSMとHIVやエイズの知識を届ける冊子。まだ自分のセクシュアリティを受け入れかねている1人の男の子が仲間たちに出会い、その中でHIV陽性者による手記に触れることにより、以前とは違う自分に出会うというストーリー仕立てで構成している。10代のHIV陽性者の手記、HIVや同性愛に関するQ&A、相談リソース集も掲載している。本冊子の制作には、若年層のゲイの支援を行うNPO法人「ピア・フレンズ」の協力を得ている。

○ ボクライフ!

②イベント

○TOKYO FM×Living Together 計画「ポエトリー・リーディング Think About AIDS」

2007年度から開始したTOKYO FMとのコラボレーション。6月6日にTOKYO FMホールにて、「TFM×Living Together 計画×ぐるりのこと。POETRY READING～Think About AIDS」として、映画「ぐるりのこと」の監督や出演俳優らの面々による、HIV陽性者やその周囲の人々の書いた手記の朗読イベントを行った。この様子はTOKYO FMで放送され、その後、ポッドキャスティングとして公開されている。

また、12月にはTOKYO FMにて、Living Together 計画とのコラボレーション放送を4日に渡って行っている。同月の第3回公開収録イベントでは、内田春菊氏や品川祐氏らによる朗読、福原美穂氏などのライブが行われた。この企画は全国ネットで放送されている。

Living TogetherのコンセプトやHIVのことに触れたことがない人にも、より聞きやすく、楽しめるように構成され、ラジオを通じた啓発普及となった。

〇Think About AIDS 公開収録イベントの様子

2-4）検査環境

（1）保健師研修

①東京都、神奈川県、横浜市保健所、クリニックなどの HIV 検査担当者への研修会

東京都、神奈川県、横浜市の自治体エイズ担当者に本研究班への協力を依頼し、東京都では６月、10 月に、神奈川県では 10 月に２回、千葉県でも 10 月に検査担当者向けに保健所担当職員を対象とする研修会を行っている。研修の中では、MSM 対象の検査前カウンセリングの対面ロールプレイを行っている。

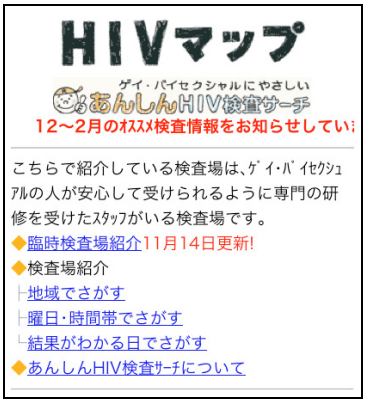
〇保健師研修 ロールプレイの様子

（2）検査情報提供

①あんしん HIV 検査サーチ

本研究に協力を表明した首都圏にある検査機関を紹介する、web サイト「HIV マップ」のコンテンツを 11 月にオープンした。このページで紹介する検査機関は、セクシュアリティに配慮した受検体制となっており、MSM が安心して検査を受けられる場所である。検査機関からの MSM 向けのメッセージや、検査の基礎知識など、事前の情報提供により、MSM の受検者の準備性を高めることも目的としている。

〇あんしん HIV 検査サーチ PC 版



〇あんしん HIV 検査サーチ mobile 版

2-5）調査評価

（1）MEN-Do キャンペーン

首都圏の MSM を対象とする本研究の調査は、ゲイバー等の商業施設、ゲイサークルの代表者やメンバー、NGO 等の協力により実施することができた。

本研究での調査はすべて、「HIV/エイズをめぐる、ちょっと面倒な、だけど大切な調査キャンペーンが始まります。」という調査キャンペーン「MEN-Do キャンペーン」として実施される。このキャンペーンでは、調査結果を調査協力者に対して可能な限り迅速に、フィードバックを行うことを目的としており、PC、携帯電話対応のキャンペーンサイトにて、調査方法の紹介、調査結果の速報の公開などを行った。

○MEN-Do キャンペーン web サイト PC 版

(2) 携帯電話アンケート

7月から9月末にかけて、携帯電話を用いたRDS調査が「MEN-Do キャンペーン携帯電話アンケート」として実施された。文化系ゲイサークルイベント(160名参加者全員)、体育系サークルイベント(120 名参加者)に参加協力を依頼し、2ヶ月間に計147件回収した。また、Living Together 計画の行う Living Together Lounge および Living Together のど自慢への参加者、関係者に参加依頼をし、1ヶ月間で244件の回答を得ている。また紹介層は第5層まで伸びている。

○文化系ゲイサークルイベントでの調査協力リクルートの様子

(3) バー・アンケート

首都圏に居住するMSMのHIV検査の受検状況や本研究で行っている啓発普及の認知などを把握する質問紙調査を、MSM向けの商業施設の利用者を対象に実施した。2009 年2月の間、「MEN-Do キャンペーン バー・アンケート」として、新宿、上野、浅草、新橋、横浜野毛のゲイバーで実施した。首都圏の MSM 向け商業施設110店舗が調査に参加し、約1,400件の有効回答を得た。

(4) 質的調査

①首都圏におけるゲイおよびバイセクシュアル男性の情報ネットワークと HIV 受検行動の実態、および受検に伴う行動変容に関する質的調査

本調査では、首都圏に在住する40代以上のMSM に対して訴求性のある啓発資材の開発に有用な因子を明らかにし、これらの年齢層への介入プログラムの資料とするものである。今年度は上野・浅草、新橋の商業施設に訪問し、その利用者を対象にした啓発のニーズを探った。

3. 2009 年度

3-1) 年間概要

2009 年度はエイズ発症を予防するためのキャンペーン「できる!」を企画・実施し、昨年度までに整備した啓発ネットワークや啓発資材を活用した広報を実施した。MSM の検査受け入れに応じた検査機関を「あんしん HIV 検査サーチ」にて広報を行っている。あんしん HIV 検査サーチについては、PC 版、mobile 版に加え、冊子版を作成し、MSM が受けやすい検査情報の提供活動を重点化した。

3-2) 相談支援

(1) HIV マップ

2007 年度7月より公開を開始した本研究の web サイト「HIV マップ」は、今年度アクセス数が 7,000 件前後まで増加した。本年度は PC ではインターネットのアクセス数を維持しつつ、携帯電話のサイトの補強を行い、アクセス数の増加を図った。

また、サイト内での検査情報のアクセシビリティを向上させるために、「あんしん HIV 検査サーチ」を改変し、利用者にとって見やすいかたちに整理した。

3-3）普及啓発

（1）ネットワーク

①地域での啓発のバックアップ体制づくり

本研究において作成した啓発資材について首都圏で MSM が利用する商業施設が集まっている地域に広報するため、昨年度に続き上野、浅草、新橋、渋谷、横浜野毛地域の商業施設を訪問し、バーのマスターなど、オピニオンリーダーとの協力関係の構築を進めた。バーを通じて利用者への資材配布を行っている。

バーからの情報発信をサポートする季刊誌「TOMARI-GI」が今年度は４回発行され、訪問および郵送で１回の発行あたり 503 軒のゲイバーに配布した。

②地域でのゲイタウンミーティング

今年度も上野・浅草に加えて、渋谷のゲイバー等に訪問し、エイズに関連する情報ニーズや顧客の持つリアリティなどを継続して聴取した。また、９月から 10 月にかけて、新橋、上野、浅草、新宿、横浜野毛において、ゲイバーなどのマスターや関係者とのタウンミーティングを行った。ここでは、2008 年度に実施した「MEN-Do キャンペーン バー・アンケート」の地域ごとの分析を紹介している。

〇タウンミーティング告知フライヤー

③抗体検査受検行動を促進するための啓発普及、広報活動

本年度は、MSM 向けクラブイベントオーガナイザーやゲイ雑誌の大手出版社、また MSM 向け web サイトの運営者とのネットワーク構築を目的として、意見交換会を３回(11 月、１月、２月)開催した。会では、HIV の疫学的状況と MSM がおかれている現状を共有し、利用者層への情報暴露を促進する広告や広報について、検討を重ねた。

④MSM 向け商業施設利用者に対する介入プログラム

MSM 向けクラブイベント利用者に対して、web サイト「HIV マップ」の広報とともに、「できる!」キャンペーングッズによる普及啓発を行った。今年度は 31 イベント、490 施設に約 8,000 セットを配布した。

（2）資材開発

①できる!キャンペーン

「みんなの「できる!」で何かがかわる。じぶんの状態を知ることで、エイズ発症を予防するあたらしいキャンペーンがはじまります。」というメッセージをもつ「できる!」キャンペーンを今年度から企画・実施した。

〇「できる!」キャンペーンロゴ

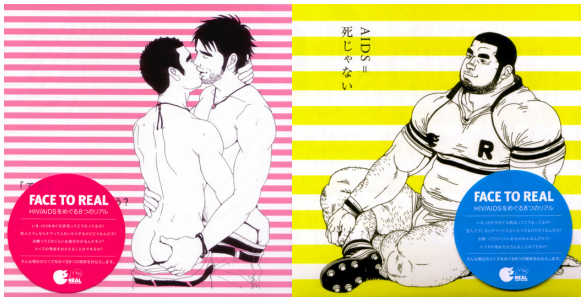
現状では、HIV の感染を知る人達の中に、発症してから気づく人が増えている。その中にはすべての年代の人が含まれているが、10 代の若年層、50 代以上の中高年層で年々、増加傾向にある。現在の治療では、発症してからも多くの場合に治療は可能だが、発症以前に感染に気づくことにはメリットがある。

そうした背景を元に、「できる!」は、HIV の

感染を早めに知ることの意味や、感染した後の生活を支えるための情報を発信するキャンペーンとして企画した。HIV の感染やエイズをめぐって、様々な体験をしてきた人たちの経験談を共有することを通じて、こうした情報を伝えることを意図した。この「できる!」キャンペーンでは、web サイトのほかに、体験談や HIV に関連する情報を複数の啓発資材を通じて提供している。

このキャンペーンは 2008 年度までの検査環境、相談支援、普及啓発など、準備を踏まえて本研究が展開した、HIV 検査促進を意図するものである。

○「できる!」キャンペーンサイト 2009



○ FACE TO REAL

○ 「できる！」キャンペーン
体験談カレンダー

3-4）④検査環境

（1）保健師研修

①MSM 対象の検査時の対応に関する協働

昨年度に引き続き、東京都、千葉県の自治体エイズ担当者とともに、HIV 検査担当者を対象とした研修会を企画し、9 月に研修会を実施した。また、今年度新たに戦略研究の MSM 定点保健所となった台東区、北区の合同研修会を 11 月に実施した。いずれの研修会も MSM の受検者を想定した、検査前カウンセリングのロールプレイを含む内容で構成された研修会を実施した。

なお神奈川県については今年度、新型インフルエンザ流行の対応に追われた保健所の検査スタッフが、研修会に参加できないことが予想された。そのため、研修会の実施が見送られ、本年度は神奈川県での研修会開催が実現できなかった。

②MSM 定点検査所となった施設の増加

戦略研究と自治体との協働で開催した研修会に参加し、MSM 向け検査情報提供に協力した保健所は、本年度、新たに２ヶ所の保健所が加わり（北区、台東区）、計 39 施設となった。この２ヶ所の保健所は、戦略研究の啓発強化地域である上野・浅草地域近辺に位置しており、今後の啓発強化に伴う検査受け入れ機関として重要である。

（2）検査情報提供

①あんしん HIV 検査サーチ

首都圏に居住する MSM を対象に HIV 検査情報を提供する「あんしん HIV 検査サーチ」の更新作業を行った。

本年度は携帯電話版「HIV マップ」の中に「あんしん HIV 検査サーチ」を開設し、PC 版と同様に MSM 向けの検査情報を提供することが可能となった。

また本年度は、６月、12 月の検査普及週間

に合わせて、協力検査所より臨時検査情報を収集し、「あんしん HIV 検査サーチ」の PC 版、携帯電話版において、臨時検査情報の広報を行った。12 月の臨時検査については、ゲイ向けの web サイトに「あんしん HIV 検査サーチ」のバナーを貼り、検査情報提供の強化を図った。

加えて本年度は、これまでインターネット上で提供してきた MSM 向け検査情報を、インターネットにアクセスしない層に向けて冊子を作成し、9 月より MSM が利用する商業施設やイベント、サークルなどで配布した。

これら MSM 向けの複数メディアを通じた HIV 検査情報提供キャンペーンは、わが国初めての試みである。

○冊子版あんしん HIV 検査サーチ 2009

3-5）調査評価

（1）携帯電話アンケート

「MEN-Do キャンペーン 携帯電話アンケート」を今年度も 7 月から 9 月末にかけて実施した。本調査は携帯電話を用いた RDS 調査である。文化系サークルイベント（126 名参加者全員）、体育会系サークルイベント（126 名参加者）に参加協力依頼し、2 ヶ月間に計 252 件回収した。また、Living Together 計画が実施する Living Together Lounge および Living Together のど自慢の参加者、関係者に RDS 調査の協力を依頼し、1 ヶ月で約 211 件の回答を得た。これらサークルや LT 計画での RDS 調査の回答について、2008 年度の経年的な推移を含め、層別の分析を進めている。

（2）質的調査

①首都圏におけるゲイおよびバイセクシュアル男性の情報ネットワークと HIV 受検行動の実態、および、受検に伴う行動変容に関する質的調査

本調査では、首都圏に在住する 40 代以上の MSM に対して訴求性のある啓発資材の開発にとって、有用な因子を明らかにし、これらの年齢層への介入プログラムの資料とするものである。昨年度に続き、上野・浅草、新橋の商業施設に訪問し、その利用者を対象にした啓発ニーズを探った。

4. 2010 年度

4-1）年間概要

本年度はエイズ発症を予防するためのキャンペーン「できる!」を啓発の柱として実施した。昨年度までに整備した HIV に関する総合支援情報 web サイト「HIV マップ」および、保健所などの HIV 検査機関と連携し、MSM 向けに検査情報を提供する「あんしん HIV 検査サーチ」の広報を行い、キャンペーンの周知と検査への導線を確保している。

また、これらのキャンペーンの効果を測るために、コミュニティ内での本研究の広報資材の認知を評価する調査などを実施した。

4-2）相談支援

（1）HIV マップ

①HIV マップ

2007 年度より公開を開始した本研究の web サイト「HIV マップ」は、2010 年度にはアクセス数が毎月 10,000 件前後まで増加した。本年度は PC 版ではインターネットのアクセス数を維持しつつ、携帯電話のサイトの補強を行い、アクセスの増加を図った。また、MSM が利用する商業サイトからの流入を促すために、「でき

る!」キャンペーン 2010 のポスターのビジュアルを利用したバナーを展開した。

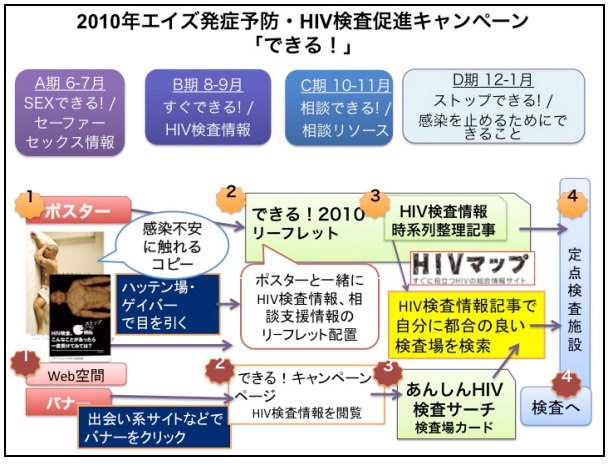
また、サイト内での検査情報のアクセシビリティを向上させるために、「あんしん HIV 検査サーチ」を改変し、利用者にとって見やすいかたちに整理した。

〇10-11 月期 MSM 向け商業サイトでのバナー

②「できる!」2010 年度キャンペーンサイト

本年度は「できる!」キャンペーンサイトを PC 版、携帯電話版で製作した。サイト上では、1HIV 陽性者の手記、2 最新疫学情報、3 相談資源の情報、4 MSM の受けやすい検査施設情報の提供を行った。キャンペーンのテーマにあわせて、６月より２ヶ月ごと４回、内容を改訂している。

本サイトでは特に、協力検査施設における臨時 HIV 検査、通常検査の除法へのアクセスしやすさに工夫を行い、情報提供を行った。



〇「できる!」キャンペーン 2010 キャンペーンサイト

4-3) 普及啓発

(1) ネットワーク

①MSM 向け商業施設と利用者への啓発

本年度は MSM 向け商業施設(ゲイバー、ハッテン場、クラブ)に定期的に訪問し、季刊誌「TOMARI-GI」、冊子「データから見る、ゲイ・バイセクシャルと HIV/エイズ情報ファイル」、「できる!」キャンペーン 2010 グッズなどの配布を通じて、バーのマスターらオピニオンリーダーへの情報提供支援、利用者への広報活動を行った。それぞれの資材の中では、HIV の疫学と MSM がおかれている状況を共有し、利用者層への情報暴露を促進する広報の支援を行った。

上野・浅草、新橋、渋谷、および横浜野毛のゲイバー等に定期的に訪問し、エイズ関連の情報ニーズや顧客のエイズに対するリアリティを聴取している。本年度は上記地域にて、457 軒のバーに定期的な啓発資材の配布を実施している。

クラブ利用者に対しては web サイト「HIV マップ」の広報と共に、啓発資材による普及啓発を 32 イベントで行った。

ハッテン場への定期的な啓発資材の配布を Rainbow Ring との協働で、本年度本格的に開始した。新宿(Rainbow Ring が担当)以外の首都圏エリアでは 19 軒のハッテン場にて配布を実施した。

〇ハッテン場アウトリーチの様子

②MSM 向けイベントと参加者への啓発

MSM 向け音楽系サークル、スポーツ系サークル、クラブイベントでの「できる!」キャンペーン 2010 グッズなどの配布を通じて、参加者への広報活動を行った。

また、８月に行われた第７回 TOKYO プライドパレード、９月に行われた第１回 gaysian games in TOKYO においてもキャンペーングッズの配布、ステージでの HIV の疫学と MSM が置かれる状況を共有する企画を行った。

なお、TOKYO プライドパレード会場で行った勉強会「Living Together ゼミナール」の様子は動画共有サイトを通じ web 上でも配信した。

〇 第７回 TOKYO プライドパレード
「できる!」キャンペーンフロートの様子

〇 「できる!」新聞

〇 Living Together ゼミナール

③TOKYO FM×Living Together 計画「ポエトリー・リーディング～Think About AIDS」

HIV 陽性者やその周囲の人々の書いた手記を知名度の高い芸能人が朗読し、HIV について考えるきっかけとしていくこの企画である。本年度は６月に吉田秀彦氏、ピーター・バラカン氏などの参加による回、12 月には向井理氏、大田光代氏などの参加による回が実施された。イベントの様子は TOKYO FM 系列の番組を通じて放送されている。2010 年には２回、実施された。

またこのプログラムでこれまでに朗読されたものはアーカイブ化し、web サイト"Think About AIDS"(http://www.thinkaboutaids.jp)として公開している。また、2008 年度の朗読については、紙媒体の資材としても配布をしている。

(2) 資材開発

①できる!キャンペーン 2010

昨年度までに準備を行ってきた「HIV マップ」など支援情報の提供、MSM 向け HIV 検査環境の改善、関係施設との協力関係の構築を背景に、「みんなの「できる!」で何かがかわる。じぶんの状態を知ることで、エイズ発症を予防する」大規模複合メディア、エイズ発症予防キャンペーン「できる!」を実施した。これは首都圏の MSM を対象とした、エイズを発症する前での HIV 検査受検を促すキャンペーンである。

「できる!」キャンペーンでは、①HIV 陽性者の手記、②HIV の最新疫学情報、③相談資源の情報、④MSM の受けやすい検査施設情報の四位一体の提供を行った。６月より２ヶ月ごと、４テーマ期(「セックスできる!(セーファーセックス)」、「すぐできる!(HIV 検査)」、「話ができる!(相談資源)」、「ストップできる!(エイズ発症予防)」)で展開した。各期に、MSM 向け商業施設(ゲイバー、ハッテン場、クラブ)で掲示・配布するポスター、リーフレットを作成した。リーフレットには HIV の最新疫学情報、検査情報など、上記の４つの情報を掲載した。

6月～7月期「SEX できる!」

8月～9月期「すぐできる!」

10月～11月期「話ができる!」

12月～1月期「ストップできる!」

○ 「できる!」キャンペーン 2010

首都圏のゲイバー457 軒を対象に１期当り、4,500 部のリーフレットを配布した。TOKYO プライドパレードなど、ゲイ向け大規模イベントでの配布も行った。また、ポスター、リーフレットと同期したキャンペーンサイトの PC 版、携帯電話版も展開した。

②「データから見る、ゲイ・バイセクシャルと HIV/エイズ情報ファイル 2010」

2007 年度より新宿や上野、浅草、新橋、横浜野毛など様々な地域のバーに訪問し、MSM についてバーのマスターらへの聞き取りを継続してきた。その際、マスターから「感染がわかったらどうなるの ？」、「ゲイの中で HIV ってどれくらい流行ってるの ？」、「コンドームしてれば大丈夫ってほんと ？」など、相談ニーズを得てきた。

そこで、バーのマスターらがちょっと調べるのに役立つ情報ファイルを作るという目的で、この冊子を企画した。「MEN-Do キャンペーン」として、本研究が実施してきた MSM 向け調査や、HIV の最新情報などを紹介している。今後のゲイ・バイセクシュアル男性と HIV 対策について考える際のツールとしての活用も意図している。

また、本冊子の内容は web サイト「HIV マップ」のコンテンツとして、インターネット上でも閲覧することができる。

○ データで見る、ゲイ・バイセクシャルと HIV/エイズ情報ファイル 2010

4-4）検査環境

（1）保健師研修

昨年度に引き続き、東京都、千葉県、神奈川県の自治体エイズ担当者とともに、保健所などの HIV 検査担当者を対象とした研修会を企画・実施した。東京都と千葉県は６月に実施し、それぞれ 30 名、28 名の参加があった。神奈川県では７月に実施し、39 名が参加した。いずれの研修会も MSM の受検者を想定したロールプレイを含む内容で構成し、MSM の受検者の不安や葛藤について理解を深め、適切な対応とは何かについて学んでもらう機会となった。

（2）検査情報提供

①あんしん HIV 検査サーチ

本研究の立ち上げた web サイト「HIV マップ」のコンテンツの１つである「あんしん HIV 検査サーチ」（PC、携帯電話版）に協力施設の検査情報を掲載し、MSM に向けて情報の継続的な提供・更新作業を行った。検査情報を掲載した施設は 39 施設で、定期的に行われる定例検査、臨時的に行われるイベント検査を掲載した。

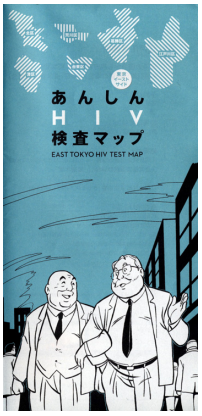
今年度は受検者の経験談を掲載した「あんしん検査探訪記」を新たなコンテンツとして設置した。受検者にとって、ピアな経験談を読むことによって、検査への準備性を高めることを目的としている。

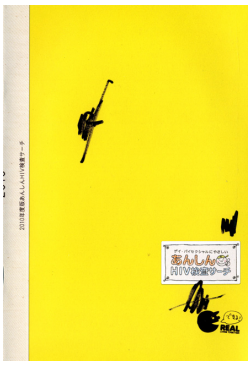
②できる!キャンペーングッズ

今年度の啓発の柱である「できる!」キャンペーンのリーフレット（年４回発行）および「できる!」キャンペーン web サイトの中でも、あんしん HIV 検査サーチに掲載されている通常検査および臨時検査の検査情報の提供を行った。こちらのコンテンツにおいても検査の体験談を掲載し、受検者の思いが読者に伝わるように工夫した。

③東京東部地域 あんしん HIV 検査マップ

昨年度、新たにあんしん HIV 検査サーチに追加された北区保健所、台東区保健所をなど、東京都の東側にある検査施設の情報をまとめた冊子を作成した。この冊子は上野・浅草や新橋などのゲイバーの顧客ニーズから生まれたものであり、それらの地域からアクセスしやすい検査施設を選定して掲載している。





○ あんしん HIV 検査マップおよび冊子版あんしん HIV 検査サーチ 2010

4-5）調査評価

（1）携帯電話アンケート

「MEN-Do キャンペーン 携帯電話アンケート」を、今年度は７月から 11 月末までの間に実施した。本調査は、携帯電話を用いた RDS 調査である。

文化系サークルイベント（出演者、観客全員に依頼）、体育会系サークルイベント（参加者全員に依頼）に参加協力を依頼し、２ヶ月間にそれぞれ 160 件、60 件の回答を得た。また Living Together 計画が実施している Living Together Lounge および Living Together のど自慢の参加者、関係者に調査協力の依頼をし、８月より 121 件の回答を得た。これらの回答について、2008 年度からの経年的な推移を含め、層別分析を行っている。

（2）バー・アンケート

首都圏の MSM 向け商業施設利用者を対象とした質問紙調査、「MEN-Do キャンペーン バ

ー・アンケート」を 2011 年２月の間、新宿、新橋、上野、浅草、横浜野下のゲイバーで実施した(有効回答数 n=1,749)。首都圏在住の MSM を対象として、年齢層別の分析を進めている。

(3) 質的調査

(１)首都圏におけるゲイおよびバイセクシュアル男性の情報ネットワークと HIV 受検行動の実態、および受検に伴う行動変容に関する質的調査：

本調査では、首都圏に在住する 40 代以上の MSM に対して訴求性のある啓発資材の開発に有用な因子を明らかにし、これらの年齢層への介入プログラムの資料とするものである。昨年度に続き、上野・浅草、新橋の商業施設に訪問し、その利用者を対象にした啓発のニーズを探った。

５.検査体制の整備と拡大

本節では５年間に実施してきた検査体制に関わるプロジェクトについて，保健所を始めする公的な検査機関との連携プロジェクトを紹介する。

５－１)HIV 検査担当者を対象とした研修会の開催

○研修会の目的と位置づけ

保健所や特設 HIV 検査機関における検査担当者が、MSM（セクシュアリティ）に配慮した検査環境とは何かについて考え、MSM に対応できるスキルを身につけることを目的とし、首都圏介入地域において研修会を実施した。HIV 感染症に関連の深い層である MSM が検査に来ていることを想定していない状況では、受検者が抱く検査の不安や葛藤に配慮した対応をとることは出来ない。また、このような状況は受検者にとって自らのセクシュアリティを言い出しにくい環境となり、相談のしにくさにつながる。単に検査を提供するだけでなく、受検者の内面を理解した対応を行い、不快な思いを与えないことは、MSM の受検環境にとって重要である。

○研修会のプログラム内容

研修会のプログラムは次の内容を軸として構成された。①セクシュアリティの多様性、ゲイ・バイセクシュアル男性の抱える問題や性生活、検査での対応方法に関する講義　②陽性者やその周囲の人が綴った手記のリーディングを通して、様々な陽性者の経験や検査の体験、その時の気持ちに触れるグループワーク　③実際にゲイのボランティアを受検者として見立て、検査の一場面を想定したロールプレイ　④よりよい検査環境を目指した保健所の取り組み事例の紹介　⑤MSM に向けた広報ポスターの作成　以上の内容を盛り込んだ研修会を実施した。

○研修会の開催実績

2007 年 12 月より研究終了までに、東京都、神奈川県、千葉県において、計 13 回研修会を開催した。研修会は毎年各自治体のエイズ担当者と戦略研究 MSM 首都圏グループで企画したが、自治体主催の研修会とし、戦略研究は協賛、協力という位置づけで実施した。2009 年度は新型インフルエンザの流行により保健所業務が増大し、神奈川県では研修会を実施することができなかった。研修会を開催できた自治体においても、例年より少ない参加者数となった。

開催日	研修会	参加人数
2007年12月14日	東京都HIV検査 担当者研修会	22人
2008年1月11日	横浜市HIV検査 担当者研修会	46人
2008年6月20日	東京都HIV検査 担当者研修会	32人
2008年10月3日	神奈川県HIV検査 担当者研修会	34人

2008年10月24日	東京都HIV検査 担当者研修会	34人
2008年10月27日	神奈川県HIV検査 担当者研修会	54人
2008年10月31日	千葉県HIV検査 担当者研修会	25人
2009年9月11日	千葉県HIV検査 担当者研修会	20人
2009年9月18日	東京都HIV検査 担当者研修会	13人
2009年12月9日	台東、北区保健所 合同HIV担当者研修会	12人
2010年6月11日	東京都HIV検査 担当者研修会	30人
2010年6月18日	千葉県HIV検査 担当者研修会	28人
2010年7月2日	神奈川県HIV検査 担当者研修会	39人
延べ13回		**計389人**

ただし 2009 年度を除くと、ほぼ計画通りに研修会を実施することが出来、延べ 389 人の担当者が本研究の研修会に参加した。自治体と協働して企画し、自治体を通じて参加を呼びかけ、その地域で研修会を開催した事で、多くの担当者に参加していただく機会になったと思われる。一方、人事異動により毎年 HIV 検査担当者の入れ替えがあるため、今後も検査の質を維持していく上で、研修会を継続して実施することが重要と考えられた。

５－２)MSM を対象とした検査機関の整備

○協力施設の選定基準

MSM 首都圏グループでは、MSM に向けて啓発を行う際に、検査を実施している施設の情報をあわせて提供したが、その際、検査を実施している施設をすべて広報するという手法はとらず、ある一定の基準を満たし、かつ MSM へ検査情報の提供に賛同していただいた施設を広報することとした。基準は次の通りである。①戦略研究の研究協力施設であり、戦略研究の評価に用いる「５分間アンケート」を実施している施設であること　②戦略研究が協賛・協力した研修会に参加し、MSM への対応について学んだ施設であること　③検査前のガイダンスが実施され、受検者の相談体制や陽性であった場合のサポートなど基本的な検査体制が整っていること　③MSM 向けの資材が準備されていること　④施設の検査担当者が MSM に向けて広報用のメッセージを寄せていただけること以上を条件とし、2008 年に MSM 向け広報施設の募集・選定を行った。

○協力施設

2008 年度に 35 会場を選定し、2009 年度に北区保健所、台東保健所、東京慈恵会医科大学附属病院（みなと保健所委託検査）、千葉県休日街頭HIV検査を加え全39会場となった。北区、台東、慈恵医大については、戦略研究の啓発強化地域に隣接する検査所であること、千葉県休日街頭 HIV 検査については、新型インフルエンザの流行により千葉県北西部の保健所が検査を中止したことによる補完的な検査会としての位置づけであったことによる追加である。最終的に戦略研究の研究協力施設となっていた施設の約半数が、MSM 首都圏グループの広報施設となった。

	地域	MSM定点検査会場名
1	東京	渋谷区保健所
2	東京	西新宿保健センター
3	東京	中野区保健所
4	東京	みなと保健所保健サービスセンター
5	東京	荒川区がん予防健康づくりセンター
6	東京	葛飾区保健所
7	東京	江戸川保健所
8	東京	台東保健所

9	東京	北区保健所
10	東京	八王子市保健所
11	東京	東京都多摩府中保健所
12	東京	多摩地域検査・相談室
13	東京	東京慈恵会医科大学付属病院
14	神奈川	横浜AIDS市民活動センター
15	神奈川	横浜市西福祉保健センター
16	神奈川	横浜市保土ヶ谷福祉保健センター
17	神奈川	横浜市旭福祉保健センター
18	神奈川	横浜市磯子福祉保健センター
19	神奈川	横浜市緑福祉保健センター
20	神奈川	横浜市青葉福祉保健センター
21	神奈川	横浜市戸塚福祉保健センター
22	神奈川	横浜市栄福祉保健センター
23	神奈川	横浜市港南福祉保健センター
24	神奈川	かながわレインボーセンターSHIP
25	神奈川	神奈川県大和保健福祉事務所
26	神奈川	神奈川県厚木保健福祉事務所
27	神奈川	神奈川県平塚保健福祉事務所
28	神奈川	ウェルネスさがみはら
29	神奈川	シティプラザはしもと
30	神奈川	藤沢市保健所
31	神奈川	横須賀市保健所
32	千葉	千葉市保健所
33	千葉	千葉県印旛健康福祉センター
34	千葉	千葉県香取健康福祉センター
35	千葉	千葉県市原健康福祉センター
36	千葉	千葉県山武健康福祉センター
37	千葉	千葉県市川健康福祉センター
38	千葉	千葉県松戸健康福祉センター
39	千葉	千葉県休日街頭HIV検査会

５－３）検査機関の広報

○Web サイトを利用した検査機関の広報

戦略研究で立ち上げた Web サイト「HIV マップ」のコンテンツの１つとして、2008 年 11 月、「あんしん HIV 検査サーチ」を公開し、MSM 首都圏グループ協力施設の検査情報を掲載した。2009 年度には携帯電話からアクセス可能な Web サイトをオープンし、協力施設の定例検査と臨時検査情報が PC および携帯の双方から閲覧が可能となった。2010 年度に実施した HIV 検査促進を目的とした「できる」キャンペーンでは、キャンペーンリーフレットを年４回発行したが、このリーフレットに同期したキャンペーンサイトを「HIV マップ」の中にオープンし、キャンペーントップページに検査情報を掲載するとともに、詳細情報については、あんしん HIV 検査サーチのページにリンクさせ、啓発と検査情報、支援情報の提供が一体となったキャンペーンの展開を行うことが出来た。

○冊子やリーフレットによる広報

2009 年度、2010 年度は Web サイトで公開している検査情報と同様の内容を盛り込んだ「あんしん HIV 検査サーチ」の冊子を作成し、MSM 向け商業施設やイベントで配付した。紙媒体による検査情報の提供は、インターネットにアクセスしない中高年 MSM への効果を狙ったものである。

2010 年度は、戦略研究の啓発強化地域である、上野、浅草、新橋（東京東部地域）に隣接する７つの検査所を紹介した「あんしん HIV 検査マップ」というリーフレットを作成し、同地域の MSM 向け商業施設で配布した。このリーフレットは検査情報だけではなく、保健所の検査担当者から MSM に向けたメッセージを掲載するとともに、検査スタッフの写真を掲載し、検査所と受検者の距離が縮まるよう工夫した。また、このリーフレットによる啓発の対象者は中高年 MSM であったことから中高年を意識したデザインを採用した。

HIV 検査の啓発を目的として実施した 2010 年度の「できる」キャンペーンでは、啓発メッセージ、検査の体験談、検査情報、相談支援情報を掲載したリーフレットを年４回発行し

５－４）検査の実施支援

MSM 首都圏グループの協力施設については、あんしんHIV検査サーチでの広報支援の他、新宿区保健所では年に２回MSM対象のHIV検査会実施に際して、検査会の広報用チラシを作成し、MSM 向け商業施設でそれらのチラシを配付するなどの支援を行った。また、ゲイ向けのインターネットサイトでも広報支援を行った。横浜市が主催するHIVの臨時検査会については、試薬の提供、広報用チラシの作成、配布、ゲイサイトでの広報、MSM向け資材の提供、検査会場の作り方に関する支援を行った。千葉県休日街頭HIV検査会については、検査会場の作り方やMSM向け資材の提供、検査当日の手伝いについて支援を行った。八王子市保健所や神奈川県内のHIV臨時検査については、MSM向けの広報支援を行った。

D まとめ

本研究が５ヶ年の介入研究において、実現した主なことを下記に記す。

① 支援的な情報ネットワーク構築:

webサイト「HIVマップ」PC版(2010年度は１月あたり9,000件のアクセス)、携帯電話版を制作した。相談情報、HIV陽性者の手記、検査情報、知識を提供する支援的な情報ネットワークを構築した。

②HIV 検査サービス提供者とのネットワーク構築とMSM向けHIV検査促進キャンペーンの実施:

MSM 向けの検査情報を積極的に紹介できる環境整備を行った。行政(東京都・千葉県・神奈川県・横浜市)との連携による、MSM 理解の促進、検査業務に携わるスタッフの対応スキルの向上をめざした研修(2007年-2010年 13回)を開発、実施した。一方、2009 年度にはインフルエンザ流行の影響で研修が中止になることもあった。また、研修を受けるなどMSMに準備のある検査機関の情報を収集し、webや紙媒体にて MSM に向けの検査施設の情報提供を行った(首都圏で39施設)。

③新宿以外の MSM 向け商業施設集積地域への活動拡大:

新宿地域以外の MSM 向け商業施設が集中する首都圏のエリア(上野・浅草、新橋、渋谷、横浜野毛)にも、タウンミーティングや継続的な訪問を行うなど、ネットワークを構築する働きかけを実施した。バー向けの季刊誌「TOMARI-GI」の配布(2008年より 全10号)を2008年度より継続して行った。

④主体的に普及啓発に関わる人を増やす:

啓発の主体をNPOメンバー、研究者、行政に限らず、すでにMSMと人的な繋がりを持つ人たちと連携を図ることによって、より多くのhard to reach層への情報提供を行った。具体的には、バー経営者（首都圏に約550軒)、ゲイサークル主催者（スポーツ、文化系、出会い系など)、クラブオーガナイザー、ゲイ向けのメディア（雑誌、web等、エロ系）等の人々との対話、密な連携を築いた。

⑤MSM向けに活動する隣接分野NPO・コミュニティと連携してツールを開発:

MSM の中でも個別の課題を抱える層(若年層、中高年層、薬物、アルコールなどの依存症の問題、聴覚障害、滞日外国人等)へのアプローチとして、隣接分野のNPOやコミュニティの当事者メンバーと連携し、複数の冊子やwebサイトなどのツールを開発した。

⑥プログラムの効果評価の方法を確立した

本研究の活動を評価するための方法として、複数の調査方法を確立し、継続して実施・分析を行った。検査施設における「受検者数把握に関する調査」「受検者の動向に関する質問紙調査」および、「バー・アンケート」（2008 年度 有効回答数 1,514 件、2010 年度 有効回答数 1,749 件)、「携帯電話アンケート」（2008年度より年次に実施。総有効回答数1,155件)。また調査キャンペーンの形態を取り、調査協力者への結果フィードバックを迅速に行なった。

E 結　語

○web 上での相談支援情報提供

成果目標達成のための検査キャンペーンを実施するために、まず相談支援の準備することから始めた。その結果，製作されたのが相談リソースなどを web 上に集約した HIV マップである。

その成果として，HIV マップは 2011 年度より事業化されることとなった。

○協力４団体の連携

本研究により運営体制として、HIV 陽性者とその周囲の人々への支援を行なってきた支援団体ぷれいす東京、新宿二丁目を中心に MSM に向けた予防啓発プロジェクトを実施してきた啓発団体 Rainbow Ring、HIV 陽性者の当事者ネットワークの JaNP+、2008 年より神奈川県での MSM 向け予防啓発プロジェクトを実施してきた横浜 Cruise ネットワークが本研究に参加し、4 団体の連携を築くことができた。首都圏のプロジェクトに関わる全員が一堂に会する、コミュニティセンターakta での月例ミーティングは、本研究実施期間に 40 回を超えている。4 団体での連携体制は今後も何らかのかたちで継続できるよう、現在検討を進めている。

○個別課題の当事者、NPO、HIV 陽性者等との連携

薬物依存など、各課題の当事者や NPO などとの連携により、より訴求力のある冊子を作成することができた。その成果が『This is hope』、『Ready Go!!』、『ボクライフ!』などの冊子として結実した。また、HIV 陽性者やその周囲の人々が記した経験談を得ることにより、「できる!」キャンペーンを始めとするプロジェクトを準備し、MSM 向けの HIV のリアリティを伝え、検査ニーズをもつ人々へ受検を促進することができた。

○検査施設、行政との連携

戦略研究をきっかけに、地域で HIV 対策に携わる検査施設や行政との緊密な連携が取れたことも成果である。

東京都、千葉県、神奈川県、横浜市などの行政とのコラボレーションにより、MSM の受検に関する研修会を実際の検査担当者を対象に４年継続して実施することができた。こうした研修会など、連携を取ることができた検査施設を「あんしん HIV サーチ」という web サイトおよび冊子を通じて、MSM に向けて情報提供を行なうことができた。成果として、この研修と MSM への検査情報のプロジェクトは 2011 年度より事業化されることとなった。また、HIV に関する支援や予防啓発を行なう NGO メンバーと行政、検査施設のスタッフが連携を取る体制が作られることによって、「共に地域で HIV に関わる者として，お互いに自信を持ってお互いを紹介できるようになった」と聞かれるようになったことも成果の一つだろう。

○普及啓発の対象地域の拡大

これまで、新宿を中心とするエリアにおいて MSM と HIV に関する活動が継続的に行なわれてきた。本研究では、新宿での経験を元に普及啓発の範囲を拡大し、上野、浅草、新橋、渋谷などの地域にも継続的な啓発活動を行なうことができた。また横浜 Cruise ネットワークの参加により、横浜など神奈川県での啓発活動も実施できている。

加えて、こうした広範囲の地域への普及啓発活動を行なうにあたり、上記４団体より構成されるアウトリーチ体制を確立することができたことも成果といえるだろう。今後もそうした体制を維持し、本研究で対象となった地域へも継続した啓発普及活動を実施する。

○流動研究員、有給スタッフによる貢献

2006 年から開始された本研究の活動範囲はそれに携わる者の人数も、プロジェクトの対象も非常に多岐に渡るものとなった。こうした大規模なプロジェクトを運営していく上で、このプロジェクトに専任で携われる流動研究員、お

よび有給スタッフの貢献は非常に大きいと言えるだろう。流動研究員はそれぞれプロジェクトを担当し、そのマネジメントを行なった。首都圏エリアの MSM と HIV 対策には本研究で行なったような大規模で複合的なプロジェクトの様なニーズがあり、そのニーズに応答するためには本研究と同規模の専任スタッフが必要とされることがわかった。

〇今後の課題

本研究の残された課題について、確認をしておく。第１に、本研究で訪問を始めた上野、浅草、新橋、渋谷地域におけるゲイバーのマスターなど、オピニオンリーダーから今後も継続した情報提供のニーズを聴取している。アウトリーチを継続できる体制基盤の整備が必要とされる.第２に、行政および検査施設からの今後の研修および MSM 向けの検査情報提供のニーズを聴取している。こちらも継続したプロジェクトを実施できるような基盤が求められる。また最後に、本研究で実施してきた内容について今後より詳細な効果評価、結果の分析、そして公的な場での報告が必要とされる。そのために安定した HIV と MSM に関わる対策のための研究基盤が必要とされている。

○ HIV マップ PC 版

HIVマップ
すぐに役立つHIVの総合情報サイト
HIVマップについて
トピックス
リンク
お問い合わせ
HIVお役立ちナビ
HIV/エイズガイド
あんしんHIV検査サーチ
リポート
HIV/エイズについて不安に思ったとき。セイファーセックスについて知りたいとき。検査してみようか迷っているとき。陽性という結果を受け取ったとき。あなたの身近にいる人が悩んでいるとき。このサイトは、一人ひとりが自分なりのリアルな現実に向き合うことを応援しています。
咳が治まらない友人に勧めた
HIV検査。結果は「陽性」で
即入院の切羽詰まった状況だった。
言って良かった。
今も彼といっしょにいられるから。
検査を受ける前にも、あとにも、安心して相談を受けられる場所があります
ストップ
REAL
トピックス
2011.01.23
Living Together のど自慢
2011.01.10
Living Together Lounge vol.73
2010.12.23
第8回LT計画×TFM「Think About AIDS」がTOKYO FMで放送されます。
2010.12.18
できる！チャンネルにインタビュー動画をアップ!!
2010.12.17
HIV／エイズガイド
感染のメカニズムや検査について。
もし陽性だったら、治療やお金はどうなるの？
そんなあなたのHIV/エイズの「？」に、
いちばん大事なことからお話します。
ここをクリック!
ゲイ・バイセクシャルにやさしい
あんしん
HIV検査サーチ
ここをクリック!
HIVお役立ちナビ HIV Helpful Navi
2010年12月15日更新
お役立ちナビでは、HIVに関連するさまざまな立場の人たち向けた情報を発信しているサイトをカテゴリー別に表示しています。
電話相談
HIV-hotlines
感染不安やHIV陽性告知を受けたとき、匿名で相談ができます。
ピアサポート
Peer Support
HIV陽性者などの同じ立場の人同士が情報交換や交流できるミーティング。
コミュニティセンター
Community Center
HIVに関する地域の情報センター。
陽性者などの日記・手記集
Diary & Voice
HIV陽性者などによって書かれた日記や手記などを集めたもの。
検査・医療・福祉
HIV testing・medical info・welfare
HIV検査、診療拠点病院、治療、福祉制度、カウンセリングなどの情報。
HIVの隣接分野
HIV-related issues
薬物、アルコール、こころのケア、セクシュアリティ、法律相談など。
HIV情報・交流サイト
HIV information websites
HIVの現状やニュース、用語集・資料集・リンク集、会員制WEBサービスなど。
HIV/STDとセックス
HIV / STD , SEX
HIVやその他の性感染症とセックスに関する基礎知識(主にゲイ・バイ向け)。
陽性者支援団体
PLWHA support groups
HIV陽性者やその周囲の人たちを直接サポートしている、各地の団体。
HIV当事者団体
PLWHA peer groups
HIV陽性者によるHIV陽性者のための団体・ネットワークなど。
HIV予防啓発
HIV prevention & education
HIVの理解を促進し、感染予防を提案する活動(主にゲイ・バイ向け)。
HIVイベント/プロジェクト
HIV events / projects
HIVに関連したイベントで、定期的に開催されているもの。

付記

（1）MSM 首都圏グループ 活動記録

◯2007 年度

月	内容
4	第1回戦略研究全体ミーティング
5	「MSM向け相談リソースを対象とした、アンケート」送付
6	「REAL」キャンペーン用、モデル撮影 ゲイ雑誌3誌(バディ，G-men，サムソン)に、REALキャンペーンの広告を掲載
7	「HIVマップ」「GAYマップ」公開 G press「HIVマップ」バナー公開 第2回戦略研究全体ミーティング MSM向け3雑誌(バディ，G-men，サムソン)に、はさみ込み冊子「REAL」と広告を掲載 「エイズ予防のための戦略研究における啓発普及計画に関する打ち合わせ会議」 「HIVマップ」「GAYマップ」、SEO対策開始(~1/31)
8	webチームミーティング 世田谷保健所 予防課との協議(生島，張) LTフロート都内走行 普及版冊子「REAL」，REALバッヂ，「HIVマップ」周知用カード，グッズ用ビニルバッグ完成 第6回東京プライドパレード Living Togetherフロート出展，冊子「REAL」と缶バッジの配布 検査環境ミーティング OUR DAYS展「HIV陽性者の日々の暮らしと思うこと」
9	パレードキャンペーン報告＆反省会 第1回定例戦略ミーティング 戦略研究研究者ミーティング
10	「″REAL″ Living Together展」 新橋訪問隊、キーパーソンインタビュー タウンミーティング準備ミーティング 第2回定例戦略ミーティング シンポジウム「誰もが暮らしやすい街ってどんなとこだろう？～HIV/AIDSを切り口に考える～」
11	インタビュー調査開始(砂川) 第3回定例戦略ミーティング 講演「MSMについての基礎知識と対応について」(生島)
12	OUR DAYS DISHES展 第4回定例戦略ミーティング 東京都保健所研修会 東京FMコラボレーション「TREE OF LOVE ポエトリーリーディング～Think About AIDS」 「HIVマップ」、「伝えるキャンペーン」開始

	携帯版「HIVマップ」開始 しらかば診療所訪問
1	訪問隊「コスモス野郎団」決起集会 新橋訪問隊、訪問開始(-2/2) 第5回定例戦略ミーティング 横浜市保健所研修会
2	戦略東京会計ミーティング 第6回定例戦略ミーティング 新橋タウンミーティング
3	第7回定例戦略ミーティング 港区保健所検査環境ミーティング web版「REAL」完成

◯2008 年度

月	内容
4	第40回Living Together Lounge 第8回 MSM首都圏グループ全体ミーティング こぐま杯(テニス大会) 検査環境チームミーティング MSK杯(バレーボール) SMASH杯(テニス) SMASH杯(バレーボール)
5	第41回Living Together Lounge 第9回 MSM首都圏グループ全体ミーティング
6	新宿区 検査イベント 第42回Living Together Lounge TFM×LivingTogether×ぐるりのこと。POETRY READING～Think About AIDS 第10回 MSM首都圏グループ全体ミーティング 新橋杯(テニス大会) 検査環境チームミーティング 東京都保健師対象MSM検査研修会 Living Together のど自慢
7	千葉県健康福祉部感染症対策室 第43回Living Together Lounge 「エイズ予防のための戦略研究(研究リーダー ： 市川誠一)」MSM首都圏グループ活動報告 第11回 MSM首都圏グループ全体ミーティング REAL Living Together ロゴ完成 文化系音楽会「プレリュード -Prelude- 2008」アウトリーチ

	MEN-DOキャンペーン01(音楽系ゲイサークル)、02(スポーツ系ゲイサークル)、03(Living Together計画)開始(～9/30)
8	AIDS文化フォーラムin横浜 第12回 MSM首都圏グループ全体ミーティング 第44回Living Together Lounge SMASH杯(バレーボール) 第9回東京レインボー祭り HIVマップ「伝える」キャンペーン 夏の思い出キャンペーン開始
9	第45回Living Together Lounge Living Together のど自慢 ゲイバーアウトリーチボランティア説明会 第13回 MSM首都圏グループ全体ミーティング こぐま杯(テニス)
10	神奈川県保健師対象MSM検査研修会 第46回Living Together Lounge 検査環境チーム 港区医療機関，医師会とのミーティング 第14回 MSM首都圏グループ全体ミーティング SVGC杯(バレーボール) 各種資材用、モデル撮影 東京都保健師対象MSM検査研修会 神奈川県保健師対象MSM検査研修会 千葉県保健師対象MSM検査研修会
11	第47回Living Together Lounge クラブオーガナイザー向けミーティング 第15回 MSM首都圏グループ全体ミーティング 「HIVマップmobile」リニューアルオープン 上野タウンミーティング 新宿区保健所検査キャンペーン 検査環境チームミーティング 港区保健所で戦略の活動について説明 クラブキャンペーン開始(～1/24/09) 神奈川県検査イベント こぐま杯(テニス) episode from OURDAYS（～12/7） 「REAL-Living Togetherクラブキャンペーンサイト」オープン 「ゲイ・バイセクシャルにやさしい あんしんHIV検査サーチ」オープン
12	第48回Living Together Lounge 大人デリヘル クラブキャンペーン用資材ハッテン場配布 第16回 MSM首都圏グループ全体ミーティング

	Living Together のど自慢
1	第49回Living Together Lounge 第17回 MSM首都圏グループ全体ミーティング 検査環境チームミーティング MEN-DOキャンペーン04バー・アンケート(新宿、野毛、新橋、上野・浅草)開始(～2/27)
2	デリヘル クラブキャンペーン用資材ゲイバー配布 第50回Living Together Lounge 第18回 MSM首都圏グループ全体ミーティング
3	第51回Living Together Lounge 第19回 MSM首都圏グループ全体ミーティング TOMARI-GI 2号完成 新橋バーママ・スタッフ向け 札幌バーママたちのインタビュー・ビデオの上映＆ライブイベント＆臨床医とのトーク会 新宿バーママ・スタッフ向け 札幌バーママたちのインタビュー・ビデオの上映＆ライブイベント＆臨床医とのトーク会

○2009 年度

月	内容
4	エイズ発症予防キャンペーン企画・検討開始 webサイトあんしんHIV検査サーチPC版改訂 第52回Living Together Lounge 第20回MSM首都圏グループ全体ミーティング スポーツ大会こぐま杯(テニス)アウトリーチ
5	HIVマップ・あんしんHIV検査サーチ広報カード完成 HIVマップPC版 新コンテンツ HIV/エイズガイド完成 第53回 Living Together Lounge 第21回MSM首都圏グループ全体ミーティング 神奈川県保健師研修会＜中止＞ TOKYO Pride Festival アウトリーチ 「Living Together コンサート」実施 MEN-Doキャンペーン ミニPCアンケート実施
6	webサイトあんしんHIV検査サーチPC版、イベント検査情報提供開始 TOMARI-GI3号発行 第54回Living Together Lounge 第4回 TOKYO FM×Living Together計画 Think About AIDS 第22回MSM首都圏グループ全体ミーティング 東京都保健師研修会＜中止＞ HIVマップPC版 新コンテンツ report開始

	第12回 Living Together のど自慢
7	第55回Living Together Lounge 第23回MSM首都圏グループ全体ミーティング エイズ発症予防キャンペーン「できる!」経験談募集ページアップ 文化系音楽会「プレリュード -Prelude- 2009」アウトリーチ MEN-Doキャンペーン 携帯電話アンケート 文化系開始(～9月末)
8	webサイトあんしんHIV検査サーチmobile版アップ 第56回Living Together Lounge AIDS文化フォーラin横浜 講演「検査しやすい環境づくりのために -ゲイ・バイセクシュアル男性理解のためのアプローチ-」 千葉県検査会協力 第24回MSM首都圏グループ全体ミーティング MEN-Doキャンペーン 携帯電話アンケート Living Together計画開始(～11月末) 台東保健所訪問 第10回東京レインボー祭り アウトリーチ
9	冊子版あんしんHIV検査サーチ完成 TOMARI-GI4号発行 第57回Living Together Lounge 北区保健所訪問 千葉県保健師研修会(20名参加) 第25回MSM首都圏グループ全体ミーティング 東京都保健師研修会(13名参加) スポーツ大会こぐま杯(テニス)アウトリーチ MEN-Doキャンペーン 携帯電話アンケート スポーツ系開始(～11月末) スポーツ大会SMASH杯(バレーボール)アウトリーチ 文京区保健所訪問 TOMARI-GI cafe EVENT in 新橋(2名参加) 第13回 Living Together のど自慢
10	FACE TO REAL 2009配布開始 TOMARI-GI cafe EVENT in 上野・浅草 第58回Living Together Lounge TOMARI-GI cafe EVENT in 新宿 第26回MSM首都圏グループ全体ミーティング スポーツ大会こぐま杯(テニス)アウトリーチ TOMARI-GI cafe EVENT in 横浜野毛 スポーツ大会SMASH杯(バレーボール)アウトリーチ
11	PC版「できる!」キャンペーン 2009年度のキャンペーンサイト公開開始 資材のPDF化、webサイトREAL-Living Together上での公開開始

	akta monthly paper 12月号 臨時検査イベント記事掲載協力 第59回Living Together Lounge 第27回MSM首都圏グループ全体ミーティング クラブオーガナイザーミーティング実施
12	「できる!」キャンペーン2009 Clubキャンペーン実施 31イベントでの配布 ・「12 STORIES」卓上カレンダーの配布開始 ・「face to real」カードセット配布開始 ・2009年度版「あんしんHIV検査サーチ」冊子配布開始 ・「できる！」キャンペーン説明フライヤー配布開始 webサイトREAL Living Togetherリニューアル配布開始 TOMARI-GI5号発行 第28回MSM首都圏グループ全体ミーティング 第60回Living Together Lounge 台東区・北区保健師研修会 第5回 TOKYO FM×Living Together計画 Think About AIDS 第14回 Living Together のど自慢
1	第61回Living Together Lounge ゲイ向け冊子関係者ミーティング 第29回MSM首都圏グループ全体ミーティング
2	MEN-Doキャンペーン 携帯電話アンケート 2009年度実施分フィードバック開始 第62回Living Together Lounge 第30回MSM首都圏グループ全体ミーティング ゲイビデオ業界向けミーティング「HIV/エイズの今についてのミーティング」
3	HIVマップ バナーキャンペーン開始 第63回Living Together Lounge 第31回MSM首都圏グループ全体ミーティング

◯2010 年度

月	内容
4	第64回Living Together Lounge かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査 第32回MSM首都圏グループ全体ミーティング スポーツ大会 こぐま杯 クラブイベントアウトリーチ・ハマナイ
5	第65回Living Together Lounge MSM首都圏グループ 活動報告・意見交換会 第33回MSM首都圏グループ全体ミーティング スポーツ大会 新橋杯

	Living Together のど自慢,09年度携帯電話アンケートフィードバック実施
6	[できる!キャンペーン A. Sexできる!] 2010年度 できる!キャンペーン開始 できる!キャンペーン A期間 Sexできる!(～7月末) A期間 ポスター完成 A期間 リーフレット完成 A期間 ランディングページ完成 A期間 ゲイ・バイセクシュアル男性向けwebサイト バナー展開 TOMARI-GI 7号完成 第6回 TOKYO FM×Living Together計画 Think About AIDS公開録音 第66回Living Together Lounge かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査 保健所職員研修会 東京都 第34回MSM首都圏グループ全体ミーティング 保健所職員研修会 千葉県
7	[できる!キャンペーン A. Sexできる!] 2010年度 できる!キャンペーンコンドーム完成 ハッテン場アウトリーチ ハッテンできる!開始 A期間 ゲイ・バイセクシュアル男性向けwebサイト バナー展開 保健所職員研修会 神奈川県 第67回Living Together Lounge かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査 Yokohama gay community paper Crew3号、原稿作成協力 第35回MSM首都圏グループ全体ミーティング 文化系音楽会「プレリュード -Prelude- 2010」アウトリーチ 文化系Prelude携帯電話アンケート クラブイベントアウトリーチ・ハマナイ 文化系展覧会 Rainbow Arts ハッテン場アウトリーチ ハッテンできる!
8	[できる!キャンペーン B. すぐできる!] できる!キャンペーン B期間 すぐできる!(～9月末) B期間 ポスター完成 B期間 リーフレット完成 B期間 ランディングページ完成 B期間 ゲイ・バイセクシュアル男性向けwebサイト バナー展開 第68回Living Together Lounge あんしんHIV検査マップ 東側版完成 かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査

	AIDS文化フォーラムin横浜 第36回MSM首都圏グループ全体ミーティング 第7回東京プライドパレード できる!フロート出展 バナースタンド、バナー完成 できる!新聞完成 Living Together ゼミナール実施 Living Together ゼミナール用パネル作成 coming out flag できる!チャンネル取材 第11回東京レインボー祭り Living Together計画携帯電話アンケート 千葉県街頭HIV検査会
9	[できる!キャンペーン B. すぐできる!] B期間 ゲイ・バイセクシュアル男性向けwebサイト バナー展開 あんしんHIV検査サーチ あんしん検査探訪記公開開始 TOMARI-GI 8号完成 ハッテン場24会館 コラボレーションMTG ハッテン場アウトリーチ ハッテンできる! 第69回Living Together Lounge かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査 第37回MSM首都圏グループ全体ミーティング Gaysian Games in Tokyo Living Together コンサート クラブイベントアウトリーチ Shangri-La スポーツ大会TOWN HOUSE杯 携帯電話アンケート Living Together のど自慢
10	[できる!キャンペーン C. 話ができる!] できる!キャンペーン C期間 すぐできる!(～11月末) C期間 ポスター完成 C期間 リーフレット完成 C期間 ランディングページ完成 C期間 ゲイ・バイセクシュアル男性向けwebサイト バナー展開 できる!チャンネル公開開始 ハッテン場アウトリーチ ハッテンできる! 第70回Living Together Lounge 第38回MSM首都圏グループ全体ミーティング ハッテン場用HIVの基礎知識リスト完成

	Yokohama gay community paper Crew4号、原稿作成協力 かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査 ハッテン場24会館 コラボレーション開始 クラブイベントアウトリーチ・ハマナイ スポーツ大会SMASH杯 携帯電話アンケート
11	[できる!キャンペーン C. 話ができる!] C期間 ゲイ・バイセクシュアル男性向けwebサイト バナー展開 かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査 ハッテン場アウトリーチ ハッテンできる! 第71回Living Together Lounge 第39回MSM首都圏グループ全体ミーティング できる!キャンペーン Twitter告知開始
12	[できる!キャンペーン D. stopできる!] できる!キャンペーン D期間 stopできる!(～1月末) D期間 ポスター完成 D期間 リーフレット完成 D期間 ランディングページ完成 D期間 ゲイ・バイセクシュアル男性向けwebサイト バナー展開 TOMARI-GI 9号完成 あんしんHIV検査サーチ あんしん検査探訪記アップデート できる!チャンネル コミュニティインタビュー公開開始 ハッテン場アウトリーチ ハッテンできる! 第72回Living Together Lounge かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査 かながわレインボーセンター SHIP HIV即日検査 第40回MSM首都圏グループ全体ミーティング 第8回 TOKYO FM×Think About AIDS Think About AIDS公開収録
1	[できる!キャンペーン D. stopできる!] D期間 ゲイ・バイセクシュアル男性向けwebサイト バナー展開

（2）MSM 首都圏グループ制作物リスト

◯2007 年度

分類		資材名
啓発	REAL雑誌広告	「REAL Living Together」G-men掲載広告・予告
		「REAL Living Together」G-men掲載広告
		「REAL Living Together」バディ掲載広告
		「REAL Living Together」サムソン掲載広告
	冊子REAL	「REAL Living Together」G-men版
		「REAL Living Together」バディ版
		「REAL Living Together」サムソン版
		「REAL Living Together」普及版
	第6回東京プライドパレード	配布バッグ
		REAL缶バッジ
		HIVマップカード（裏面LT・上半身裸の男性）
		うちわ（白地に緑字REAL）
		Tシャツ（白地に緑字REAL）
		Living Together フロート
	レインボー祭	（パレードと同じグッズを配布）
	新橋タウンミーティング	案内（Wordにて制作）
	「初戀」上映会シンポジウム	フライヤー？
	TFM×LT計画	A5折フライヤー（OUR DAYS DIARYと両面）
		Tree of LOVE コンドーム
	イベント	OUR DISHES ランチョンマット
	REAL-LT展	「″REAL″ Living Together展」フライヤー
		「″REAL″ Living Together展」パネル
		ランチョンマット
		コースター（緑地に白字REAL）
調査	ベースライン調査	雑誌広告冊子に挟み込んだハガキ
	インタビュー調査	くまフライヤー

◯2008 年度

分類		資材名
啓発	冊子REAL	「REAL Living Together」多言語版
	クラブキャンペーン系	キース・ヘリング袋
	クラブキャンペーン系	クラブキャンペーン説明
		キース・ヘリングコンドームセット
	冊子	「FACE TO REAL」キース・ヘリングデザイン
		「This is hope」「Ready Go!」「ボクライフ！」
		REAL A5折 冊子紹介リーフレット・青
		「OUR DAYS Episode 2　ポジティブな5人の"Living Together"日記」
	スポーツ大会	主催者のメッセージが入ったカード
		コンドーム
	Prelude	説明パネル
		プログラムA4折
	レインボー祭	Tシャツ（青地に白でREAL LT）
		うちわ（青地に白REAL LT）
	伝えるキャンペーン	チラシ
	TOKYO FM	A5折 6月ぐるりのこと。コラボ。　12月 A4ピラ
		ユウジさん手記パネル、写真パネル
	イベント	OUR DAYS ep2 ランチョンマット
		パネル展のパネル
検査	検査案内	西新宿検査案内(H.20 7月)
		横浜市臨時夜間検査（H20 1月）
		西新宿検査案内(H.20 7月)
		神奈川県臨時検査(H20 11月)
TOMARI-GI		TOMARI-GI 1号、2号
		TOMARI-GI CAFE EVENTチラシ（ときどき通信）
LT 計画	LT-Lounge	Living Together Loungeフライヤー 6月-3月
	Living Togetherのど自慢	2008年6月フライヤーvol.9-11
	横浜Cruiseネットワーク	LIVING TOGETHER KANAGAWA リーフレット改訂版

◯2009 年度

分類		資材名
全体	REAL-LT	REAL-LT紹介ピンクリーフレット
		エイズ学会用REAL-LT冊子DL紹介チラシ
啓発	TOKYO Pride Festival	TOKYO Pride Festival 舞台イベント紹介フライヤー
		カミングアウトフラッグ
	プレリュード	パンフレット裏
	できる!キャンペーン	できる!キャンペーンコンドーム4種
		できる!経験談募集フライヤー
		できる!キャンペーンうちわ、Tシャツ カリフォルニアオレンジ
		できる!キャンペーンTシャツ+うちわ
		できる!キャンペーン 前フリフライヤー 1、2
		できる!キャンペーン FACE TO REAL さわやか版 3トップ
		できる!キャンペーンセット用クリアバック
		できる!キャンペーン 本フライヤー
		できる!キャンペーン FACE TO REAL エロ版 3トップ
		できる!キャンペーン 卓上カレンダー 風景版、人物版
		できる!キャンペーンTシャツ クラブキャンペーン用
		できる!キャンペーン グッズ説明マンガ
		cocolo cafe 展示用パネル
		キャンペーン用POP・大、小、大小利用図
	TFM×LT計画 THINK ABOUT AIDS	THINK ABOUT AIDS 6月イベントフライヤー
		THINK ABOUT AIDS webサイト紹介フライヤー
		THINK ABOUT AIDS 12月イベントフライヤー
		THINK ABOUT AIDS 12月放送フライヤー
検査		港区AIチェックフライヤー
		多摩地域検査・相談室フライヤー、ポスター
		新宿区保健所検査フライヤー、ポスター
		あんしんHIV検査サーチ紙版
		12月検査イベントフライヤー
web		HIVマップカード緑版・黄色版・ポスター
		エイズ学会用HIVマップパネル、フライヤー
TOMARI-GI		TOMARI-GI3号-5号
		TOMARI-GI cafe EVENTフライヤー
LT 計画	Living Together Lounge	Living Together Loungeフライヤー 4月-3月
	Living Together のど自慢	Living Togetherのど自慢フライヤー 6月、9月、12月

◯2010 年度

分類		資材名
できる!!	A期間・SEXできる!	キャンペーン説明折りチラシ
		SEXできる！ポスター　A3 、A4
		SEXできる！リーフレット
		コンドーム4種類
	B期間・すぐできる!	24会館スタッフ向けFAQ
		すぐできる！ポスター　A3、 A4
		すぐできる！リーフレット
	C期間・話ができる!	話ができる！ポスター　A3 、A4
		話ができる！リーフレット
	D期間・ストップできる!	ストップできる！ポスター　A3、A4
		ストップできる！リーフレット
啓発	冊子	あんしんHIV検査サーチ2010紙版
		データで見る、ゲイ・バイセクシュアルとHIV/エイズ情報ファイル2010
	スポーツ大会（テニス大会）	（新規制作物はなし）
	Prelude	チラシ掲載広告、プログラム掲載広告
	第7回東京プライドパレード・	パンフ：パンフレット掲載広告
		舞台：パネル1、2、3、4、5
		ブース：できる新聞、 できる! A期間バナー、できる! B期間バナー
		フロート：ターポリン幕・トラック横 メッシュ幕・トラック前、メッシュ幕・トラック後
	レインボー祭	（新規制作物はなし）
	Gaysian Games 2010	モノクロチラシ
	TFM	Think about AIDS vol.6：曽我部恵一ver.、 吉田秀彦ver.
		Think about AIDS vol.7
検査	検査案内	7月15日・西新宿保健センター　ゲイのための～案内
		12月456 SHIP案内
Web		（新規制作物はなし）
TOMARI-GI		TOMARI-GI 6号（2010 SPRING）、7号（2010 SUMMER）
		TOMARI-GI 8号（2010 AUTNUM）、9号（2010 WINTER）
		TOMARI-GI 10号（2011 SPRING）・最終号
LT	LT-Lounge	Living Together Lounge フライヤー4月-3月
計画	Living Togetherのど自慢	2010年5月フライヤーvol.15、9月vol.16フライヤー